

平成30年 3月 4日

(あて先) 熊本市長

郵便番号

住所

団体名 田原坂観光ボランティアガイドの会

代表者 職名 会長 氏名 中尾 末義



熊本市市民公益活動支援助成金実績報告書

平成29年 4月 1日付け指令(地活)第1-14号により、熊本市市民公益活動支援助成金の交付決定を受けました事業の実績について、熊本市市民公益活動支援基金実施要綱第20条の規定により、関係書類を添えて下記のとおり報告します。

記

1 助成事業名

スタートアップ助成

激戦地田原坂の歴史遺産を通して、ガイド技術の向上を図る

2 助成事業の実施期間

平成29年 4月 1日～平成30年 2月28日

3 助成事業の内容

1 田原坂周辺の遺跡に学ぶ

2 マニュアル作り

3 定例会の実施 月々の記録を基にガイドの問題点など検討する

4 事業の成果

1 田原坂周辺10ヶ所の西南戦争遺跡について検討会・勉強会を実施した

2 61頁のマニュアルが完成しガイドの質・技術の向上が図られた

3 毎月、定例会を開き問題点の洗い出しを行い解決を図った

5 助成事業の実施状況

(1) 事業収支決算書(様式第16号)

(2) 事業の経過又は成果を証する書類等

(3) その他参考となる資料

事業報告書

実施年度	平成２９年度
事業名	激戦地田原坂の歴史遺産を通して、ガイド技術の向上を図る
事業期間	平成２９年　４月　１日　～平成３０年　２月２８日
事業の目的	熊本城と田原坂は西南戦争において最も大きな歴史遺産であり、また平成２９年には西南戦争１４０周年の節目を迎える。また国指定史跡などの歴史的遺産の保存と活用、そして観光振興を図ることも望まれる。ガイドの会としてもおもてなしの心を持ち、ガイドの技術向上に努めたい。
具体的な事業内容	１　田原坂周辺の遺跡に学ぶ ①田原坂激戦地を見学しガイドのスキルを高める為の資料を集めた。 ②田原坂周辺の遺跡や、特に関連の深い玉東町の史跡等の研修をした。 ２　マニュアルづくり ①　田原坂資料館内、館外１０地区のマニュアルを作成した。 ②　現地研修会を実施した。 ３　定例会を開き問題点課題を分析検討し解決策を模索し実施した。
実施場所	田原坂資料館及び公園と周辺の戦跡。
事業の効果 ・公益性	当事業を通してガイドのスキルが向上し、来訪者に田原坂の戦いの経緯、意義をわかりやすくガイドできるようになった。それにより植木町田原坂の認知度が高まりリピートを含め来訪者が前年より増加した。更に植木町周辺の観光地にも関心が高まり地域観光に貢献できた。 また西南戦争や田原坂の知名度が広まり、他の地域のガイド団体との交流もできるようになり熊本全域でのイベントづくりの足がかりもできはじめ、各地域や広域にわたる観光事業にも貢献できる可能性ができた。
次年度以降の事業展望	田原坂における西南戦争イベントを企画し植木町への観光客の導入を促進したい。また時間の経過とともに消えつつある戦跡伝承を自治協議会や田原坂西南戦争顕彰会と協働で収集し植木町ならではの遺跡文化の構築を実現したい。
事業への想い (当事業によってどのような熊本市にしていきたいか)	田原坂における西南戦争を通じて近代国家への夜明けが始まったが、一方では戦争の悲惨さや悲しみがあり、全国の小中学校の平和教育の場として、また日赤発祥の地として全国に発信し田原坂・熊本市を史跡観光のメッカにしたい。 更に田原坂を中核として西南戦争ネットワークを創設し熊本県内各地の関係ある地域と協働し立体的な歴史ロマンを追い求め、また新鮮な果物や農産物など地域の特産物などを扱う道の駅等とも連携し、食の満足と熊本が誇る豊かな温泉で癒しを満喫できるコースを策定しアクセスの改善を図りながら観光客が満喫できる熊本市の実現を図りたい。

事業収支決算書

項 目		金 額 (円)	内 訳
収 入	自己資金		会費
			当該事業による収益
		544	その他の自己資金
			寄附金・協賛金
	市民公益活動支援助成金	100,000	当該事業に対する助成額
	その他の補助金・助成金		
	計	100,544	
支 出	助成対象経費	人件費	21,000 マニュアル作製作業料 2,100 円×10 人分
		報償費	40,000 講師料 10,000 円×4 回分
		役務費	
		使用料・賃借料	8,900 教室利用料 8,900 円
		事務費	30,644 ファイル類 21,800 円 用紙 4,644 円 コピー代 4,200 円
		旅費	
		委託費	
		その他	
		小計	100,544
	助成対象外経費		
		小計	
	計	100,544	